



使  
用  
人  
と

大

※執事からのお願いです。

お子様には糖分、刺激の強い内容が含まれております。

18歳以下のお子様には手の届かない場所に保管されるよう、十分お気を付け下さいませ。



# 使 用 人 と



はい  
何ですか？



セバスチャン……



これしか方法は  
なかったのか？

おや  
ご不満ですか？

伯爵家で新しい使用人を  
探しておりましたので  
潜入するには最適かと  
思われますが



あとはいかに坊ちゃんが  
伯爵家の使用人として  
相応しく振る舞えるか  
どうかです



せっかく使用人として  
雇われても

すぐにクビになって  
しまっっては  
意味がありませんから

……  
この僕に使用人など  
務まると思うか



される前から  
もう弱音を  
吐かれて  
いるのですか？

任務のためなら  
何でもやると  
仰ったのは  
坊ちゃんですよ

さあ坊ちゃん

潜入捜査は  
明日

やるからには  
完璧を目指させて  
いただきます

キラッ

ズッ  
ズッ

時間がありません



ほら坊ちゃん  
手元がふらついて  
いますよ

うう…  
重い…





あ…坊ちゃん  
よそ見されると!



分かってる!  
いちいち叩くなっ



この間…

ああ……  
やはり  
水にしておいて  
正解でしたね

★★  
うわ——っ!  
ガ  
シ  
ャ  
坊ちゃん



食器は一つ一つ丁寧に磨いて

廊下は顔が映るほど美しく

うわあっ!



こんなの止めだっ!

次だ!  
次!



お前がうるさく言うから

……お前のせいだ



坊ちゃん!  
お怪我は?



くす







やれやれです

僕を無能のように  
言うな!



困りましたね  
ある程度覚悟はして  
いました

ここまで壊滅的に  
何もできないとは

ふう  
ふう



大体 僕が使用人の  
真似事をする事と自体  
間違っているんだ



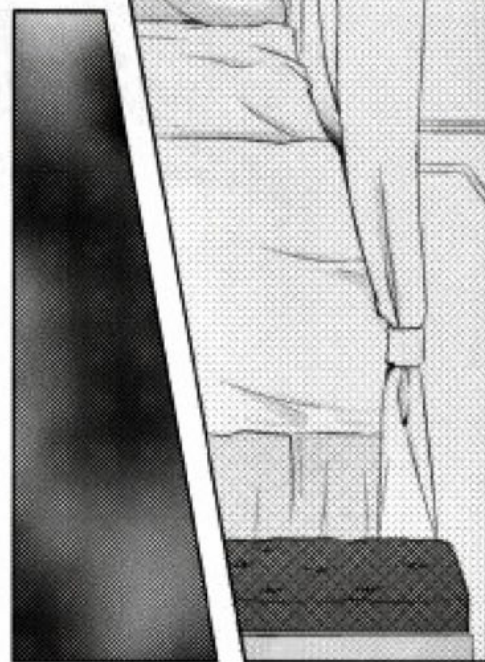
そうですね  
坊ちゃんは坊ちゃんにしか  
できない方法で

主人の  
お役に立てば  
いいんです

ニク



……





ほら...もっと奥まで啜え込んで

んうっ

ぐびゅ



坊ちゃん その調子です

イキますよ

残さず全部 飲み下してください

セブルル

うえっ.....

ふー

ぐ



ん.....

苦...

ぐ



大丈夫ですか？  
坊ちゃん

う...っう

リッポ

リッポ



大丈夫じゃない!!

何を仰って  
いるんですか？

本番は  
これからですよ



もういいだろ  
離れろ!



お…  
おい!



お口いっぱいにご奉仕されて興奮なさいましたか?



ひゃッ!

おやもう反応していませんか



あ…  
やめッ!



こちらもこんな期待にヒクつかれて……

慣らさずともすぐ銜え込んでしまう

ふああ!









キラキラ

……が  
及第点です

充分そそられ  
ましたよ



あああああ

はっ

あ

イ

あ

あ……ひ……

ズズズ

ズズズ

び





馬鹿っ!  
入ったまま動くな

あぁ

んっ!  
あ!

バクン



我がままな人ですね  
そんな要求の多い  
使用人はいませんよ

誰が使用人だ!



ひっ

ダメですよ

そんな口の利き方  
悪い子ですね

あぁ!!



ひっ……あああ！

止めたくても  
もう……止まり  
ませんか

ズツ  
ズツ  
ズツ



この駄犬め！  
主人が立てなくなるくらい  
犯りまくるヤツが  
あるか！

申し訳ありません

他の男に組み敷かれる  
坊ちゃんを想像して  
少々本気になって  
しまいました

アアア...



それに坊ちゃん自身も  
感じられているよう  
でしたしね

ファンッ！

たとえ僕が誰に犯られようが  
お前には関係のない  
ことだろ？

さあ  
どうでしょう

本心でなくとも  
嫉妬するくらい  
言えないのか……

馬鹿執事！

嫉妬？  
何を考えているんだ  
僕は！

そんな恋人みたいな  
真似事を  
本気で望んでいるとでも  
言うのか？

ギョツ

ガッ  
ガッ  
ガッ

こうなっては  
仕方ありませんね……

伯爵家には  
私が代わりに行って  
参ります

上手くいった  
時には……

ご褒美をくださいね  
坊ちゃん

……っ  
馬鹿め……



# 指輪





これは……何の罠  
なんでしょうね

スヤスヤ



しかも  
美味しそうな姿で

ピン

クク



お昼寝をされている  
坊ちゃん



まさか私への  
ご褒美？

バーン

いよいよ  
それはありませぬや



私はあくまで執事

そんな見え透いた手に  
容易く引つかかるとでも  
お思いですか



甘いですよ…坊ちゃん

やはりまだまだ  
お子様ですね

ん…?



おや?

誰かお捜し  
ですか?

キョウキョウ



私を誘うなんて真似  
どこで覚えて  
こられたんですか？

本当に困った  
ニャン子だ

まだ眠い…



フア!

フア

坊ちゃん…

フア

フア

フア

フア

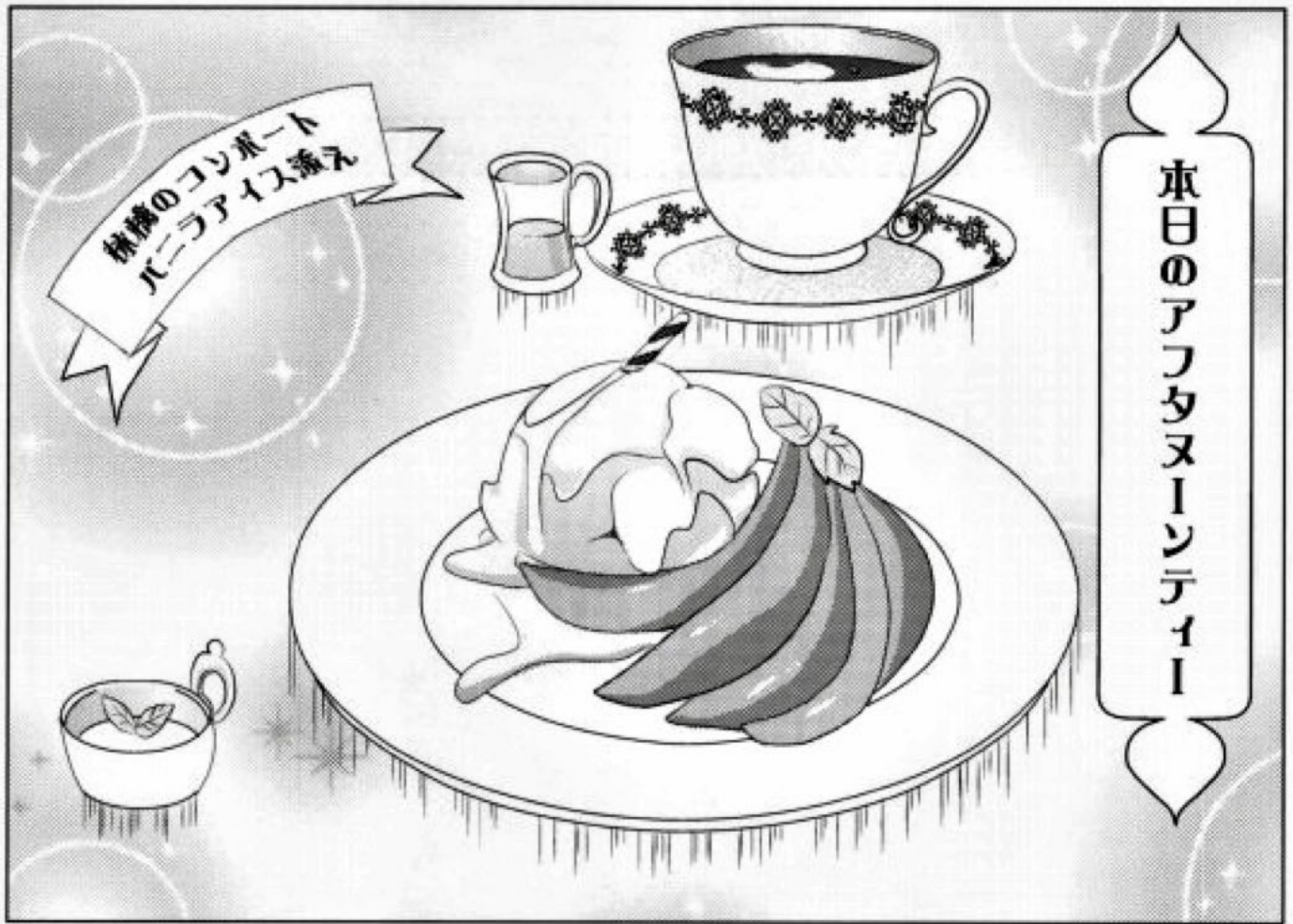
フア



アフタヌーンティーでも  
ご用意しておき  
ましょうか

——私の小さなご主人が  
目覚めるまで——

END



*Sebastian Michaelis*

*Ciel Phantomhive*

*utukiyo for A.D.U.E.T*

